

老朽原発事故時 感染症対策等 避難先自治体へのアンケート 結果

【避難先を兵庫県に限った場合の結果】

- 高浜原発事故時の避難元：福井県 4 市町、京都府 7 市町
兵庫県への避難先：35 市町（市町名は 4 頁参照）
- ◆ 美浜原発事故時の避難元：福井県 2 市町
兵庫県への避難先：11 市町（市町名は 3 頁参照）
- アンケート対象自治体：内閣府資料「高浜地域の緊急時対応」「美浜地域の緊急時対応」による
- アンケート実施期間：2021 年 2 月 16 日～3 月 4 日
- 方法：アンケート用紙を F A X ・メールで送付し、同様に回答を受け取った
- アンケート実施団体：福井と関西の 3 団体
(ふるさとを守る高浜・おおいの会/ 安全なふる里を大切に作る会/ 避難計画を案ずる関西連絡会)

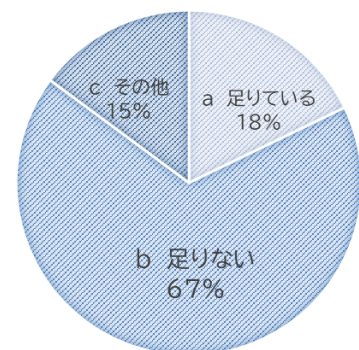
●高浜原発事故の場合	回答あり	回答なし	合計	回答率
兵庫県の避難先市町	33	2	35	94%

◆美浜原発事故の場合	回答あり	回答なし	合計	回答率
兵庫県の避難先市町	9	2	11	82%

●【高浜原発事故時】感染症対策を実施した場合 「避難所の数は足りていますか？」（複数回答あり）

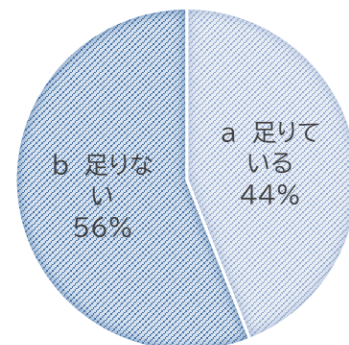
「足りている」は、わずか 18%（6 市町）
 「足りない」は、68%（23 市町）で約 7 割にも
 「その他」は、15%（5 市町）

事故時に「柔軟に対応」等で何も決まっていない



◆【美浜原発事故時】

「足りている」は、44%（4 市）
 「足りない」は、半数以上の 56%（5 市町）



【回答の特徴と自治体の声を一部紹介します】

1. 避難所のマッチングについて

(1) 加東市、神河町、稲美町：マッチングはできていないと回答

「約 1700 人に対して、1 人あたり 4m² 及び通路分を確保するのは簡単ではない」（加東市）

(2) 京都府最大の避難元は舞鶴市。府外避難先で舞鶴市民を最も多く受け入れるのが神戸市
 (34,000 人受入れ)

神戸市は「選択肢に該当しない」として、「マッチングは受入れ調整の中で行う」と回答。事実上マッチングはできていないことになる

※これでは舞鶴市民はどの避難所に向かうのかも分からない状況。

2. 避難所の感染症対策について

(この項目は、避難先自治体が多い、高浜原発事故時の回答について紹介)

(1) 避難所を増やしたのは、南あわじ市のみ

南丹市約 1,800 名の避難先である南あわじ市は、9 か所から 25 か所に避難所を増やした

(2) 「足りている」の回答は 6 市町のみ

(3) 「足りない」の回答は 23 市町で、約 7 割にものぼる

○対策をしていない市もある

- ・事故後に舞鶴市民が来てから「別の避難所へ移動してもらうことを想定」(淡路市)
- ・「実際の避難受け入れ人数をもとに避難所の収容人数を超す場合は、指定避難所以外の開設を行うよう調整」(丹波市)
- ・三田市、洲本市も「対策はしていない」

○対策を予定・検討しているとの回答。しかし、対策になっていない回答もある

- ・「避難所の増設・追加」(福崎町、高砂市、新温泉町)
- ・「いくつかの避難所が指定から外れたことにより、原発事故時の避難所が足りていない状況となっている。現在、代替の避難所を検討中」(宍粟市)
- ・「現在避難所の使用面積と収容人数の見直しを行っている。今後対策を検討予定」(市川町)
- ・「間仕切りテントで区画を確保して対応」(赤穂市等)
- ・「市が被災した場合のことも含め、避難所の指定は増やしているが、まだまだ足りない」(加東市)
- ・「指定避難所以外の公共施設での受入れを検討」(明石市)
※「指定避難所」以外で避難できるのか？
- ・「公的な避難所以外にも親戚や知人宅への避難や宿泊施設への避難についても検討していただくよう周知を行う」(尼崎市 舞鶴市民約 14,000 人受入れ)
※尼崎市に親戚等のいる舞鶴市民がどれだけいるのか？実効性はない

(4) 「その他」の回答は 5 市町。大勢を受け入れる市は、ほとんどが事故時に「柔軟に対応」「調整後」と回答。実際は、対策はできていない

- ・**神戸市** (舞鶴市民約 34,000 人を受入れる府外の最大の避難先)
「受入れ調整の中で、現実に発生する避難者数と避難所の状況を見ながら柔軟に対応」
- ・**西宮市** (同約 16,000 人を受入れ)「京都府と兵庫県の調整後」
- ・**芦屋市** (京丹波町民約 3,000 人を受入れ)「事故の状況に応じて京都府及び兵庫県との協議により対応方法を検討」

(5) 市単独で判断は難しく、避難元・避難先の協議が必要という回答もある

- ・「当市で判断できない」(伊丹市)
- ・「南丹市の他、兵庫県、京都府を交えて協議を行う必要があると考える」ため対策はしていない(洲本市)
- ・「県に避難者の受入れ対策を要請し、県より、避難所が不足する場合は、関西広域連合のガイドラインに基づき、県内の他市町へ調整を行い、それでも不足する場合は関西広域連合に調整を依頼する旨の連絡があった」ため対策はしていない(川西市)
 ※兵庫県の回答は、事故後に調整するという一般論で、実効性はない。
- ・「4m²を基準にした場合、足りている施設とそうでないところがある。マッチングをして受け入れを決めているため受け入れ元の若狭町等との検討が必要と考える」(多可町：美浜原発事故時の避難先)

3. 濃厚接触者の「別室確保」について

- ・西宮市は「京都府と兵庫県の調整後になる」(回答はその他 芦屋市も同じ)
- ・芦屋市は「事故の状況等に応じて京都府及び兵庫県との協議により対応方法を検討するため」
- ・神戸市はマッチングができていないにもかかわらず「確保できている」と回答

4. 困っていることや要望等の意見

- ・避難所不足で困っている
- ・感染症対策用の物資の支援
- ・避難時の物資の確保など、どの程度まで協力支援する必要があるか、言いかえると、どの程度裁量が与えられるか(救助法業務・応援協定に基づく物資の供給など)(当町アルファ化米等の備蓄物資も一部協力したとしても、当町の危機管理上、全部は出せない)

美浜原発事故時 避難先を兵庫県に限った場合
避難先自治体アンケート結果

避難元	避難元市町	避難先	受入人数	避難所の数	マッチング ●できている ×できていない	感染症対策で避難所は足りているか ●足りている ×足りない	濃厚接触者の別室確保 ●確保している ×できていない	
福井県	若狭町	丹波市	2,000	6	●	×	●	
		丹波篠山市	回答なし					
		三木市	3,100	14	●	×	●	
		加東市	1,700	-	×	×	●	
		小野市	回答なし					
		西脇市	1,700	5	●	●	●	
		加西市	2,000	9	●	●	●	
	多可町	716	4	●	×	●		
	小浜市	姫路市	22,000	38	●	●	-	
		朝来市	1,172	8	●	×	●	
豊岡市		3,200	13	●	●	-		

(注：色がついている市は、美浜原発事故時と高浜原発事故時の両方の避難先になっている)

**高浜原発事故時 避難先を兵庫県に限った場合
避難先自治体アンケート結果**

避難元	避難元市町	避難先	受入人数	避難所の数	マッチング ●できている ×できていない	感染症対策で避難 所は足りているか ●足りている ×足りない	濃厚接触者の 別室確保 ●確保している ×できていない	
福井県	高浜町	三田市	3,200	4	●	×	×	
		猪名川町	750	3	●	×	×	
	おおい町	伊丹市	4,400	24	●	その他	×	
		川西市	3,900	19	●	×	●	
	小浜市	姫路市	22,000	38	●	●	—	
		豊岡市	3,200	13	●	●	—	
		養父市	1,000	8	●	●	●	
		福崎町	830	5	●	×	●	
		神河町	406	2	×	×	●	
		市川町	460	3	●	×	×	
		新温泉町	564	2	●	×	×	
		香美町	747	4	●	×/その他	—	
		朝来市	1,172	8	●	×	●	
	若狭町	加東市	1,700	—	×	×	●	
丹波市		2,000	6	●	×	●		
小野市		回答なし						
京都府	舞鶴市	神戸市	34,000	69	—	その他	●	
		西宮市	16,000	65	●	その他	(その他)	
		淡路市	900	5	●	×	×	
		尼崎市	14,000	83	●	×	●	
	綾部市	相生市	975	5	●	●	●	
		宍粟市	1,462	11	●	×	×	
		赤穂市	1,700	2	●	×	●	
		佐用町	469	2	—	×	●	
		太子町	1,000	8	●	×	●	
	南丹市	たつの市	3,000	3	●	×	×	
		洲本市	1,764	9	●	×	×	
	南あわじ市	南あわじ市	1,849	9	●	●	●	
		高砂市	2,521	14	●	×	●	
	宮津市	加古川市	7,700	51	●	×	●	
		明石市	8,412	47	●	×	●	
		稲美町	760	13	×	×	●	
	伊根町	播磨町	回答なし					
		福知山市	上郡町	450	1	●	●	●
	京丹波町	芦屋市	2,996	19	●	その他	(その他)	

(注：色がついている市は、美浜原発事故時と高浜原発事故時の両方の避難先になっている)